令和６年度

富士見市立水谷東（みずたにひがし）小学校

文化・芸術体験









第６学年

特　色

●国語の学習「柿山伏」の一環として、キラリふじみアウトリーチプログラムを活用し、万作の会による、狂言ワークショップを行った。児童が体験的に狂言の世界観を味わうことで、伝統芸能への興味関心を高めることをねらっている。

●ワークショップでは狂言における所作や発声等を学び、狂言への理解を深めた。体験活動後の柿山伏の学習では学んだことを生かし、児童がのびのびと狂言の世界を表現していた。

児童の感　想

●今まで狂言をはじめとした伝統芸能を自分の目で見たこと、体験したことはなかったので、とても貴重な経験になった。

●実際に体験してみて狂言の面白さや難しさが初めて分かった。今度は他の伝統芸能も体験してみたい。

成　果

●狂言のプロの技を直接見たり、直接教えていただいたりすることで、児童の狂言への興味関心は確実に高まった。

●ワークショップで学んだ狂言に関する技術を事後の学習に生かそうとする意欲的な姿勢が見られた。